

# 総務委員会資料

## 1 所管事務の調査（報告）

### （1）次期川崎競輪開催業務等包括委託について

資料 次期川崎競輪開催業務等包括委託について

経済労働局

令和3年7月15日



# 次期川崎競輪開催業務等包括委託について



## 1 包括委託の目的・基本的な考え方

平成29年度から5年間の契約期間で導入した「包括委託」は、自転車競技法に基づき、本市が競輪施行者の責任において実施する競輪開催事務などを除き、車券発売・払戻、広報、警備、清掃などの業務を一括して民間業者に委託するもので、一体的に事業を行うことによる経費削減や民間ノウハウを活用したファンサービスの向上など、競輪事業の運営に効果的な役割を果たしてきた。このため、令和4年度から令和8年度までの5年間に於いても、次の考え方に基づき包括委託を継続し、より効果的・効率的な競輪事業の運営を実施していく。

### 1 競輪事業の確実な実施及び効率的な運営

- (1) 公正・安全かつ円滑な業務運営の推進
- (2) 柔軟かつ効率的な業務運営による経費削減の推進
- (3) 魅力的な情報発信やファンサービスの向上などによる新規ファンの獲得による車券売上の増加

### 2 市民に親しまれ地域活性化に資する競輪場

- (1) 富士見公園との調和が図られた競輪場施設に向けて、市民利用や市民開放に取り組み、親しまれる競輪場づくりを推進
- (2) 商業・教育などとの連携による周辺地区の活性化に資する取組を強化

## 2 現行の包括委託の導入効果

### 1 競輪事業特別会計決算額の推移

	← 包括導入前 包括導入後 → (単位: 円)				
	H27	H28	H29	H30	R1
A 競輪事業収入	15,860,727,767	21,332,778,786	16,487,874,619	17,930,864,989	17,246,160,343
うち車券売上金	15,277,094,000	20,883,291,700	15,938,760,400	17,271,269,500	16,589,850,800
B 基金繰入金	1,895,727,460	865,756,778	301,571,900	454,831,560	0
B' 国庫補助金	118,876,106	0	0	0	0
C 前年度繰越金	122,984,981	131,350,549	123,047,333	120,905,539	27,387,739
D 歳入計	17,998,316,314	22,329,886,113	16,912,493,852	18,506,602,088	17,273,548,082
E 競輪事務費	226,159,885	245,263,157	199,856,436	195,106,794	203,037,985
F 競輪開催費(除基金積立金)	15,336,474,288	20,478,724,959	15,862,887,521	17,131,700,549	16,448,413,343
G 競輪場整備費	2,040,385,532	982,748,436	364,966,698	501,905,571	50,134,780
H 一般会計繰出金	130,000,000	170,000,000	250,000,000	280,000,000	310,000,000
うち競輪事業	100,000,000	100,000,000	130,000,000	130,000,000	130,000,000
うち競馬組合配分金	30,000,000	70,000,000	120,000,000	150,000,000	180,000,000
I 競輪事業運営基金積立金	14,753,921	8,405,227	4,985,609	64,288,467	17,322,360
J 競輪施設等整備事業基金積立金	119,192,139	321,697,001	108,892,049	306,212,968	204,506,467
K 歳出計	17,866,965,765	22,206,838,780	16,791,588,313	18,479,214,349	17,233,414,935
L 単年度収益(単年度収支・基金積立・繰出金)	272,311,628	491,799,012	361,735,864	556,983,635	544,574,235
M 次年度繰越金(D-K)	131,350,549	123,047,333	120,905,539	27,387,739	40,133,147

※ 平成28年度は特別競輪(GⅡ・サマーナイトフェスティバル)を開催

### 2 主な導入効果

#### (1) 委託料の削減

	← 包括導入前 包括導入後 → (単位: 千円)			
	H28	H29	H30	R1
包括委託業務対象経費・包括委託料	778,099	635,191	688,295	664,999
対H28(包括導入前との比較)	—	△142,908	△89,804	△113,100

包括委託に移行した業務の平成28年度(移行前)と平成29年度以降(移行後)の委託料を比較すると、**3年間で345,812千円(1年平均で115,271千円)の減。**

#### (2) 人件費の削減

	← 包括導入前 包括導入後 → (単位: 人, 千円)			
	H28	H29	H30	R1
職員(人)	19	16	16	14
旧非常勤(人)	17	14	13	12
旧臨職(人)	2	2	1	1
従事員(人)	101	87	75	57
計	139	119	105	84
職員の人件費削減等による効果(千円)		△50,914	△69,809	△109,477

「包括委託移行後(平成29年度から令和元年度)の決算額」と「包括委託を行わなかった場合の各年度の推計額(平成28年度の職員数のままだった場合の推計額)」を比較すると、**3年間で230,200千円(1年平均で76,733千円)の減。**

### (3) 市民に親しまれる競輪場づくり

地域に親しまれる施設を目指し、家族連れ、親子連れなどをターゲットに様々な取組が活発に実施された。

- ・富士通スタジアムと連携しスポーツフェスタにおいて子ども自転車教室を開催
- ・市民まつりと連携したバンク走行会・地元商店街と連携した街かど音楽祭
- ・足漕ぎバギーなどで親子連れが楽しめる「九ちゃんパーク」の開催



子ども自転車教室



小学校での出張授業(新城小学校)

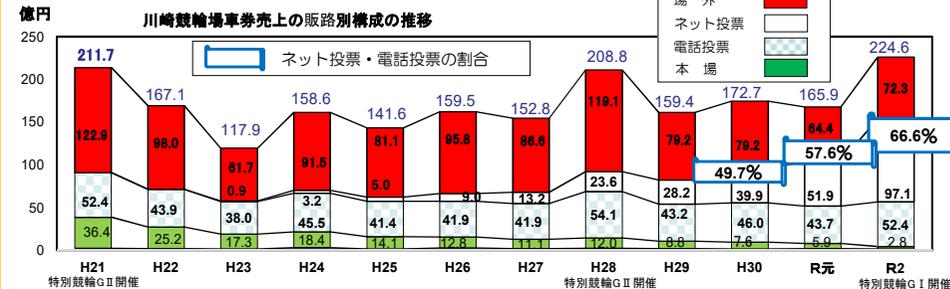


中学生の職業体験(富士見中学校など)

## 3 近年の動向

### 1 インターネット等在宅投票の拡大

- ◆全国的に本場及び場外売上が減少する一方、在宅投票(インターネット投票+電話投票)の売上が増加傾向にある。
- ◆川崎競輪場においても、ミッドナイト競輪を初めて開催した平成30年度の在宅投票の売上が全体の49.7%を占め、以後令和元年度57.6%、令和2年度66.6%と増加している。



### 2 ミッドナイト競輪の普及・拡大



### 3 ガールズ競輪の普及・拡大

女子選手ならではのファッション性・スポーツ性にも訴求することにより、若年層の新規ファンの獲得を目指している。川崎競輪場でも平成30年度以降、年6回程度レースを開催。

## 4 今後の方針

### 1 新規顧客獲得に向けた販売戦略

インターネット等在宅投票者、ミッドナイト競輪、ガールズ競輪に着目し、新規顧客獲得に繋げる。

### 2 特別競輪の誘致・開催

令和2年度に川崎競輪場で開催した特別競輪「全日本選抜競輪」GⅠの売上が、87.8億円(対前年度比105%)。於:豊橋競輪場)となったことから特別競輪(GⅠ・GⅡ)の誘致を引き続き行い、開催に結び付ける。

### 3 施設等の整備

レース開催・選手の練習に必要なバンクや老朽化した施設等の整備を推進する。

### 4 市民に親しまれ地域活性化に資する競輪場

富士見公園との調和が図られた競輪場施設に向けて、親しまれる競輪場づくりを推進するとともに、周辺地区の活性化に資する取組を強化する。

### 5 市政への貢献

効率的・効果的な運営により持続的に収益を確保するとともに、一般会計への繰り出しを行い市政に貢献する。

